

## 2025年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年4月11日

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4187 URL <https://www.ooc.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 昌幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 本田 宗一 (TEL) (06)6264-5071  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年11月期第1四半期の連結業績(2024年12月1日~2025年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第1四半期	8,516	20.5	1,365	135.2	1,480	131.3	1,035	71.6
2024年11月期第1四半期	7,066	2.8	580	△42.3	640	△38.4	603	△17.0

(注) 包括利益 2025年11月期第1四半期 835百万円(△28.3%) 2024年11月期第1四半期 1,164百万円(24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第1四半期	49.96	—
2024年11月期第1四半期	28.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期第1四半期	54,467	44,003	79.4
2024年11月期	59,964	46,139	75.8

(参考) 自己資本 2025年11月期第1四半期 43,273百万円 2024年11月期 45,435百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	32.00	—	34.00	66.00
2025年11月期	—	—	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	34.00	—	34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日~2025年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,800	9.5	2,500	34.4	2,600	30.7	1,700	△15.8	81.00
通期	34,000	4.0	5,000	8.5	5,200	9.4	3,500	△13.5	165.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社 (社名) 韓国大阪有機化学工業、除外 一社 (社名)  
 株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年11月期 1 Q	22,410,038株	2024年11月期	22,410,038株
② 期末自己株式数	2025年11月期 1 Q	2,083,311株	2024年11月期	1,283,303株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年11月期 1 Q	20,726,729株	2024年11月期 1 Q	21,195,658株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しの動きを背景に、緩やかな回復が継続いたしました。しかしながら、物価上昇、通商政策など米国の政策動向、中東地域をめぐる情勢により、国内の景気を下押しするリスクもあることから、依然として先行きが不透明な状況となっております。

このような状況の下で当社グループは、2024年11月期より2030年11月期までの新中期経営計画Progress & Development 2030 (P&D 2030) をスタートいたしました。P&D 2030では、当社グループの経営理念のもと、「特殊アクリル酸エステルのリディングカンパニーとして、グローバル市場に価値を提供する」という経営ビジョンを掲げ、ESGに配慮したサステナブル経営を推進し、企業価値の向上と持続的成長を目指してまいります。

化成事業におきましては、製品の統廃合や生産効率の改善等による利益率の向上に努めるとともに、バイオマス由来などの環境に配慮した製品の拡販に注力いたしました。電子材料事業におきましては、最先端半導体材料の開発を加速し、フォトレジスト材料の新規用途への展開に努めてまいりました。機能化学品事業におきましては、化粧品原料の海外展開の強化や高純度特殊溶剤の拡販に取り組んでまいりました。昨年設立した韓国現地法人に続き、今期は北米に販売拠点設立を計画しており、新規顧客の獲得や新市場の開拓により、海外販売体制の強化を図ってまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は85億1千6百万円（前年同四半期比20.5%増）、営業利益は13億6千5百万円（前年同四半期比135.2%増）、経常利益は14億8千万円（前年同四半期比131.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億3千5百万円（前年同四半期比71.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおりません。）

#### ①化成事業

化成事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車用塗料向けの販売は横ばいで推移いたしました。ディスプレイ用粘着剤向けの販売が大幅に増加し、UVインクジェット用インク向けの販売も増加いたしました。メタクリル酸エステルグループは、販売が低調に推移いたしました。この結果、売上高は33億1千6百万円（前年同四半期比22.7%増）、セグメント利益は5億2千7百万円（前年同四半期比102.4%増）となりました。

#### ②電子材料事業

電子材料事業におきましては、半導体材料グループは、最先端のEUVレジスト用原料の販売は減少いたしました。主力であるArFレジスト用原料の販売は回復し、グループ全体の売上高は増加いたしました。表示材料グループは、タッチパネル用絶縁膜向けの販売が好調に推移し、グループ全体の売上高は増加いたしました。また、その他グループの販売は横ばいとなりました。この結果、売上高は37億2千4百万円（前年同四半期比20.2%増）、セグメント利益は5億3千万円（前年同四半期比202.6%増）となりました。

#### ③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、販売が横ばいで推移いたしました。機能材料グループは、販売が堅調に推移いたしました。子会社の高純度特殊溶剤の販売は好調に推移いたしました。この結果、売上高は14億7千6百万円（前年同四半期比16.8%増）、セグメント利益は3億1千5百万円（前年同四半期比138.1%増）となりました。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて54億9千7百万円減少し、544億6千7百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少29億2千1百万円、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったことなどによる受取手形、売掛金及び契約資産の減少17億2千5百万円、製品の減少2億2千1百万円及び投資有価証券の減少2億8千1百万円などによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて33億6千万円減少し、104億6千3百万円となりました。これは、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったことなどによる支払手形及び買掛金の減少17億1千4百万円、未払金の減少5億2千3百万円及び未払法人税等の減少4億7百万円などによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて21億3千6百万円減少し、440億3百

万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加3億9百万円、自己株式の増加22億2千4百万円及びその他有価証券評価差額金の減少2億1千1百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月9日に公表いたしました連結業績予想から修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,047,614	10,126,298
受取手形、売掛金及び契約資産	11,252,037	9,526,371
電子記録債権	374,384	394,629
製品	4,799,006	4,577,633
仕掛品	2,070,025	2,067,873
原材料及び貯蔵品	1,989,293	1,982,533
その他	773,069	777,723
貸倒引当金	△18,415	△14,176
流動資産合計	34,287,015	29,438,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,327,194	8,183,923
機械装置及び運搬具（純額）	7,530,545	7,319,999
土地	2,172,476	2,172,476
建設仮勘定	94,679	38,330
その他（純額）	290,291	317,537
有形固定資産合計	18,415,187	18,032,266
無形固定資産		
のれん	23,333	18,333
その他	50,538	46,700
無形固定資産合計	73,871	65,033
投資その他の資産		
投資有価証券	6,294,854	6,013,701
退職給付に係る資産	758,144	766,761
繰延税金資産	1,927	1,496
その他	133,712	148,955
投資その他の資産合計	7,188,638	6,930,915
固定資産合計	25,677,697	25,028,215
資産合計	59,964,713	54,467,103

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,924,864	4,210,272
1年内返済予定の長期借入金	2,188,610	2,104,453
未払金	1,524,265	1,000,978
未払法人税等	895,161	487,951
賞与引当金	—	263,716
役員賞与引当金	42,210	8,805
その他	1,154,766	600,754
流動負債合計	11,729,879	8,676,931
固定負債		
長期借入金	1,337,923	1,200,459
繰延税金負債	634,911	472,849
役員株式給付引当金	35,086	—
その他	86,937	113,522
固定負債合計	2,094,858	1,786,831
負債合計	13,824,737	10,463,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,600,295
資本剰余金	3,513,436	3,513,443
利益剰余金	38,727,951	39,037,663
自己株式	△3,129,535	△5,353,564
株主資本合計	42,712,148	40,797,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,344,090	2,132,130
為替換算調整勘定	132,235	99,458
退職給付に係る調整累計額	246,812	244,313
その他の包括利益累計額合計	2,723,138	2,475,902
非支配株主持分	704,689	729,599
純資産合計	46,139,976	44,003,339
負債純資産合計	59,964,713	54,467,103

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
売上高	7,066,021	8,516,926
売上原価	5,282,984	5,846,560
売上総利益	1,783,036	2,670,366
販売費及び一般管理費	1,202,420	1,304,495
営業利益	580,615	1,365,870
営業外収益		
受取利息	601	2,771
受取配当金	33,947	36,842
為替差益	17,549	—
受取保険金	—	97,183
その他	11,105	28,683
営業外収益合計	63,203	165,480
営業外費用		
支払利息	2,314	2,406
為替差損	—	45,193
自己株式取得費用	602	2,400
投資事業組合運用損	591	506
その他	—	0
営業外費用合計	3,508	50,507
経常利益	640,311	1,480,843
特別利益		
投資有価証券売却益	273,751	—
特別利益合計	273,751	—
特別損失		
固定資産除却損	102	199
特別損失合計	102	199
税金等調整前四半期純利益	913,960	1,480,644
法人税、住民税及び事業税	409,192	466,937
法人税等調整額	△116,318	△68,048
法人税等合計	292,873	398,888
四半期純利益	621,086	1,081,755
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,675	46,306
親会社株主に帰属する四半期純利益	603,410	1,035,449

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
四半期純利益	621,086	1,081,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	526,368	△211,286
為替換算調整勘定	14,415	△32,776
退職給付に係る調整額	2,224	△2,559
その他の包括利益合計	543,008	△246,623
四半期包括利益	1,164,094	835,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,145,212	788,214
非支配株主に係る四半期包括利益	18,881	46,917

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	797,455千円	721,502千円
のれんの償却額	4,999千円	4,999千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年1月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により自己株式は、当第1四半期連結累計期間に2,224,029千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において5,353,564千円となりました。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度において非連結子会社であった韓国大阪有機化学工業株式会社は重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
日本	1,368,164	2,599,782	960,451	4,928,398	—	4,928,398
アジア・豪州	810,947	475,658	277,044	1,563,649	—	1,563,649
米州	354,015	23,886	19,578	397,480	—	397,480
欧州	169,458	—	7,033	176,492	—	176,492
顧客との契約から生じる 収益	2,702,585	3,099,327	1,264,108	7,066,021	—	7,066,021
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,702,585	3,099,327	1,264,108	7,066,021	—	7,066,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	76,504	76,504	△76,504	—
計	2,702,585	3,099,327	1,340,612	7,142,525	△76,504	7,066,021
セグメント利益	260,737	175,171	132,362	568,270	12,344	580,615

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
日本	1,586,393	3,154,050	1,113,708	5,854,152	—	5,854,152
アジア・豪州	1,215,493	563,431	307,617	2,086,542	—	2,086,542
米州	359,255	6,614	54,785	420,654	—	420,654
欧州	155,006	570	—	155,576	—	155,576
顧客との契約から生じる 収益	3,316,149	3,724,665	1,476,110	8,516,926	—	8,516,926
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,316,149	3,724,665	1,476,110	8,516,926	—	8,516,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	118,196	118,196	△118,196	—
計	3,316,149	3,724,665	1,594,307	8,635,123	△118,196	8,516,926
セグメント利益	527,628	530,126	315,210	1,372,965	△7,094	1,365,870

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。